

「大学の近況」

長崎県立大学
 学長 石村善治

昨年5月、長崎県立大学は新しい道を求め、「大学将来構想 最終報告書」を発表し「世界的水準の研究体制」へのビジョンを打ちだしました。残念なことには、「構想」の第一の目標である「複数学部の併設乃至総合大学への発展」については、県当局からは「慎重に審議する」という回答を頂き、目下「既存学部の充実」に向かつて懸命の努力を重ねています。具体的には、とくに、一年次生を対象にした「フレッシュマンセミナー」による大学教育の動機づけ、オムニバス方式による「総合科目」(例えば、「環境論」「人間・情報論」「ジェンダー論」等)や高年次生の「特別講義」の増設を計画しています。

また、長崎県内大学・短大間のいわゆる「単位互換制度」も出発しようとしています。その一つに、いわゆる「駅前講座」として、来年より長崎県立大学、長崎国際大学、長崎短期大学の三大学による、「コードイネート科目」というのも始めようとしています。

さらに、日蘭交流400周年記念国際シンポジウムとして、「寛容と平和の世界に向けて」というテーマで、2月2日(土)(西海パールシーセンターマリナホール)、3日(日)(長崎県立大学506教室)の両日、講演会及びシンポジウムが開かれます。

ご参加を心からお待ちしています。

その他、「大学の自治」をめぐる問題も起こっています。私としては、立派な大学、世界の大学として誇るに足る大学にするために日夜努力しています。皆さん方のご鞭撻、ご声援をお願いいたします。

長崎支部

●支部長 馬場 達朗
 (46年度卒)
 ☎0958・78・2946
 (自宅)
 長崎市磯通町46-1
 ボンナール小倉303

マレー紀行

9月21日～24日にかけて、シンガポール事務所時代の家具メー

カーの社長、チエンさんの招きでマレー(ペナン島)へ行ってきた。福岡発11時30分のマレー航空で6時間の長旅である。シンガポール時代によく利用した、機内の空気も違うし、スチュワードスのサービスも、物足りない感じであった。マレーにはかつて、シンガポール事務所勤務の三年の間にクアラルンプール、マラッカ、パトバハ、又、ボルネオ島のクチンには行ったことはあったが、ペナンは初めてである。ペナンはマレーのリゾート地であり、かつてイギリスの統治であったため、町のあちこちにその面影を見つけることが出来る。ホテルもリゾート向けに、広い敷地に、庭園あり、プールありビーチあり、ヘルスセンターあり、とゆつたりとした気分で休日を楽しめるように、自然と調和した十分な設備と人員が配置されている。ビジネスホテル的な所に泊り、忙しく過ごす日常から考えれば、非常にゆつたりと時間が流れ、まるで一日が三十分ぐらいあるような感じさえする。物価も日本の四分の一ぐらいで、レストラン、観光、ゴルフ等も安い価格で楽しむ事が出来る。そのためヨーロッパの観光客はシンガポールよりマレーへシフトしているとのことであった。

関東支部

●支部長 小室 宏
 (62年度卒)
 ☎0429・72・7631
 (自宅)
 飯能市美杉台1-20-15

小さな心づかいで 大きな輪を

関東支部ではより多くの会員に参加してもらえる企画をと、役員一同、頭を悩ましているのですが、たいへん困っていることが2つあります。

1つは、案内の手紙が「宛先不明」で戻ってしまう、ということ。

関東支部エリアの住所を登録している人へ発送するのですが、毎回2割程度の人に届かず、返送されてしまいます。どうか、転居されましたら、すみやかにフリーダイヤル0120・47・9044の同窓会事務局へ電話してください。転居して行方不明になってから、事務局で追いかけるのは容易なことではありません。ぜひあなたの電話帳にフリーダイヤル0120・47・9044を書いておいて下さい。

もう1つは、案内の手紙の返事が来ない、ということ。

先程のとは異なり、確かに案内状が届いているのにも関わらず、出欠の返事がないのです。関東支部の会合に出席して下さい、とは申しません。あなたのメッセージが欲しいのです。

関東支部エリアにいる同窓生に近況を知らせて欲しいのです。4年間あるいはそれ以上、同じ

度の活動状況(予定を含む)を左記に報告致します。

これからも活動の場を広げ、関西支部の皆さんが楽しみながら参加していただけるような企画を考え、実行して行きたいと思っています。

●平成12年5月20日～21日

関西支部セミナーハウスでの異業種交流会

・昭和45年3月～平成10年3月卒迄8名参加、内初参加3名

・21日 昭和51年3月卒 稗田 寿炎氏宅訪問(備前焼 陶工)

●平成12年11月～平成13年2月 鵬友会関西支部幹部会開催予定

福岡支部

●支部長 浜辺 千昭
 (46年度卒)
 ☎090・20・8856・0358
 (自宅)
 福岡市西区薬石浜2-4-303

福岡支部の今後について

福岡支部では平成11年度の活動として大きく二つのことを行いました。

一、恒例の支部総会・親睦会を平成12年1月29日開催
 毎年参加をいただいておりますスペイン語の園田先生を囲んで約二十数名が天神・平和楼において再会を喜びました。
 本年は末記のとおり12月2日(土)開催致します。

二、本部主催の就職セミナー応援参加。

一昨年は福岡支部主催で開催致しましたが、本部での開催に当

相浦富士を眺めて過ごした仲間ではありませんか。案内状が届きましたら、すぐに切り取ってポストに入れて下さい。一日延ばしにしていると、人間だんだん億劫になってきます。よろしく願います。

さて、関東支部では20世紀を締めくくる大イベントを企画いたしました。

期日は12月2日(土曜)

午後2時から5時まで、

場所はシヨッピンデセンタ―(文京区役所庁舎)です。

詳細は別途お送りします案内状をご覧頂くか、私の携帯090・7183・2231までお問い合わせ下さい。

大分支部

●支部長 瓜生田 憲治
 (47年度卒)
 ☎097・5211・6206
 (自宅)
 大分市大字迫317-1

大分支部口今成長中

平成5年に有志の呼び掛けで、最初の親睦会(飲み会)が開かれ、出席者全員が学生時代にタイムスリップし、大学教授、下宿、アルバイト、クラブ活動等の話題に花が咲き、盛会となった。

杯を重ねるうちに、先輩後輩といった年齢差や職業の違いを越えた仲間意識が一段と強まり、全員でこの会の名称を「大分弓張会」とし、毎年開催を決めた。この「大分弓張会」も、平成8年に鵬友会大分支部の発足と同時に、発展的に解消し、仲良しクラブから組織へと大きく変っていったが、

って少しでもそのノウハウを役立ててもらおうと福岡支部から四人の役員が応援に参加致しました。これは本年のセミナーにおいても同様の連携を考えております。

その他、本部役員会、大分支部総会等にも出席をし、お互いの情報を交換しております。

福岡支部には現在七百五十名の会員が在籍しています。これは本部を擁する長崎県の会員に次ぎ二番目の会員数であります。

しかしながら毎年の支部総会・親睦会への参加数は他の支部とほとんど変わりありません。私たち福岡支部役員一同、さらに皆さんが気軽に集まれる企画を考えて参りますので奮ってご参加下さい。

平成十二年度

支部総会・懇親会のお知らせ
 ★とき／12月2日(土)

午後6時30分予定

※会場・会費等は別途案内ハガキを送ります。

※当日は同日開催の関東支部と相互通信をしながら総会・親睦会を進めるという新しい試みを行います。

関東支部に友人がいる方は、お互いに出席してみたいかがですか。



平成12年度予算

平成11年度予算及び決算報告書

(収入の部)			(単位：円)
	科 目	予算金額	備 考
1	会費（卒業生）	600,000	@12,000×50名
2	会費（新入生）	6,516,000	@12,000×538名(内 5名は大学院)
3	名簿代	30,000	
4	預金利息	2,500	
5	雑収入	350,000	
	小 計	7,498,500	
	前年度繰越金	765,615	
	合 計	8,264,115	

(支出の部)			(単位：円)
	科 目	予算金額	備 考
1	鵬祭援助金	250,000	
2	卒業記念品代	300,000	
3	通信費	1,000,000	
4	人件費	900,000	
5	支部活動費	700,000	
6	旅費交通費	300,000	
7	渉外費	250,000	
8	事務局費	300,000	
9	印刷費	800,000	
10	鵬友会基金特別積金	1,000,000	
11	留学生関係費	400,000	
12	会議費	150,000	
13	総会費	1,200,000	
14	雑 費	164,115	
15	鵬友会特別奨学金	250,000	
16	就職活動援助費	300,000	
17			
18			
19			
20			
	小 計	8,264,115	
	次年度繰越金	0	
	合 計	8,264,115	

(収入の部)				(単位：円)
	科 目	予算金額	実績金額	備 考
1	会費（卒業生）	600,000	444,000	@12,000×37名
2	会費（新入生）	5,664,000	5,664,000	@12,000×472名(内 2名は院生)
3	名簿代	200,000	24,000	
4	預金利息	2,500	1,670	
5	雑収入	1,325,307	1,300,629	30周年特別積立金取崩1,226,629
	(小 計)	7,791,807	7,434,299	激励会会費・お祝儀 74,000
	前年度繰越金	799,512	799,512	
	合 計	8,591,319	8,233,811	

(支出の部)				
	科 目	予算金額	実績金額	備 考
1	鵬祭援助金	250,000	250,000	
2	卒業記念品代	300,000	278,850	
3	通信費	800,000	905,391	
4	人件費	900,000	896,300	
5	支部活動費	800,000	700,000	
6	旅費交通費	200,000	236,290	
7	渉外費	250,000	333,878	
8	事務局費	300,000	261,520	
9	印刷費	700,000	521,200	
10	鵬友会基金特別積金	1,000,000	1,000,000	
11	記念品代	0	0	
12	40周年特別積立金	1,625,307	1,226,629	
13	部活援助費	100,000	0	
14	予備費	100,000	0	
15	留学生関係費	200,000	303,075	
16	会議費	100,000	109,114	
17	総会費	250,000	152,112	
18	雑 費	66,012	63,007	
19	鵬友会特別奨学金	250,000	0	
20	就職活動援助費	400,000	230,830	
	(小 計)	8,591,319	7,468,196	
	次年度繰越金	0	765,615	
	合 計	8,591,319	8,233,811	

《収入合計》 8,233,811 ― 《支出合計》 7,468,196 = 《次年度繰越金》 765,615

平成12年7月22日 鵬友会会長 前田 敬一

収支決算書及び付属書類は適正であり、その計算は正確と認めます。
会計監査 ・千北 裕吉・宮地 学

平成12年 3 月末日

平成11年度貸借対照表

(単位：円)			
資産の部		負債・資本の部	
現 金	45,959	40周年積立金	1,226,629
普通預金	719,656	記念品積立金	1,032,071
定期預金	5,296,945	鵬友会基金特別積立金	3,038,245
		繰越金	765,615
計	6,062,560	計	6,062,560

平成11年度財産目録

(単位：円)		
預金種目	金 額	預 入 先
現 金	45,959	
普通預金	719,656	させば農業協同組合本所金融課
定期預金	416,437	させば農業協同組合本所金融課
	1,032,071	させば農業協同組合本所金融課
	1,015,647	させば農業協同組合本所金融課
	409,046	させば農業協同組合本所金融課
	1,022,598	させば農業協同組合本所金融課
	401,146	させば農業協同組合本所金融課
	1,000,000	させば農業協同組合本所金融課
預金合計	6,016,601	
合 計	6,062,560	

学生の就職状況にとって超氷河期が果てしなく続く中、昨年初めて本部主催の就職セミナーを烏帽子青少年の天地で開催。
今年も11月に各支部の応援を得て佐世保本部主宰の就職セミナーの開催が決定。
毎年増え続ける会員数とそれに伴う経費の増大に苦悩しながらも、限られた予算の中、全国各地において活躍している頼もしい声が届くことを励みとし、役員一同努力をしております。
しかしながら現役学生からは、入学時に全員、終身会費（12,000円）を頂いておりますが、卒業生の皆様からの納入状況は約60％となっております。今後の本学の発展を願うには余りにも淋しい数字です。
まだ終身会費未納の卒業生の皆様、ご理解の上同窓会費納入にご協力下さいますようお願い申し上げます。
鵬友会本部

同窓会は終身会費で運営されています。
会費納入にご協力下さい。